

子どもオカリナづくり



こねて描いて自分だけのオカリナを作ろう かわいい音を出したいな

12人の子どもたちが、全2回のオカリナづくりに参加しました。初回は粘土で成形する工程。粘土が型からはみ出さないように、でこぼこしないように、穴を開ける時に形が崩れてしまわないように、と子どもたちは真剣そのもので、丁寧に作っていました。次回は絵付けやニス塗りの工程、8月には完成したオカリナでコンサートを予定しています。

7月9日 | エルセンター

ふれあい夏まつり



運動遊びや的当てを楽しみ 笑顔が弾け、歓声が響いた

浮気保育園で保護者会主催の「ふれあい夏まつり」が開催され、143人が運動遊びや的当て、おもちゃすくいなどを楽しみました。0歳児から5歳児まで年齢に合わせた遊びのコーナーを設け、園は子どもたちの弾けるような笑顔や歓声に包まれました。最後には園児たちが声を合わせて「ありがとうございました」とお礼を言いました。

7月8日 | 浮気保育園

しがらき 信楽たぬきを作ろう



小津学区の地域教育学級で 粘土をこねて「大人でも楽しい」

小津公民館で開催されている「小津パール学級」「学級やまびこ小津」で、オリジナルの信楽たぬき作りを楽しみました。信楽陶芸村の藤井 和行さんを講師に迎え、陶芸粘土を型に入れてたぬきを作り、粘土の木の葉やハートで飾るなど自分だけの作品を仕上げました。参加者は「粘土に触るのは大人でも楽しいです」と話していました。

7月13日 | 小津公民館

第25回 中学生広場「私の思い 2022」守山大会



意見発表と活動発表 まっすぐなメッセージを訴える

市内6中学校の代表18人が、日常生活の中で感じている思いや意見を発表しました。中学生の真剣なメッセージ、たくましい姿に会場から大きな拍手が送られました。最優秀賞に輝いた山本 和奏さん(県立守山中学校)と川端 花音さん(明富中学校)が、県中学生広場に推薦されました。また、明富中学校と県立守山中学校による活動発表も行われました。

7月9日 | 市民ホール



守山市の人口

令和4年6月30日現在
(前月比)

人口	85,427 (+ 112)
男	42,003 (+ 39)
女	43,424 (+ 73)
世帯数	34,309 (+ 80)

（ま）らここちらで見られそうだ。花は笑みがこぼれるような趣で元気になる。今夏は、プロジェクトで配られたヒマワリの花を、守山のあちらからこちらで見られそうだ。

（ま）らここちらで見られそうだ。花は笑みがこぼれるような趣で元気になる。今夏は、プロジェクトで配られたヒマワリの花を、守山のあちらからこちらで見られそうだ。

（ま）らここちらで見られそうだ。花は笑みがこぼれるような趣で元気になる。今夏は、プロジェクトで配られたヒマワリの花を、守山のあちらからこちらで見られそうだ。



今夏は6月の後半から異常な暑さで始まり、やっと半分過ぎた。この暑さがまだ半分残っていると思うと気が遠くなりそう。子どもの頃は、夏休み、水遊び、虫取りなど楽しいばかりで、いつまでも夏が続いてほしいと思つたものだが、年を重ねて秋が恋しくなるばかりのこの頃▼何年か前からわが家では暑さ対策にゴーヤを植えて日差しをしのぎ、ひと夏で10本ぐらい収穫していたが、今年は買いそびれてしまった。代わりにキュウリとインゲン豆とアサガオのグリーンカーテンを育てて楽しんでいる▼もう一つ、ヒマワリプロジェ